



しまね オンライン 大交流会 2020

しまね大交流会2020

アンケート集計結果
(2021.2)

Agenda

1. 開催結果
2. アンケート分析 ～学生・生徒～
3. アンケート分析 ～出展者～

1. 開催結果

1.2 参加者数

| | | | | | | | オンライン開催 |
|----|----------------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 所属 | | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| 若者 | 島根大学 | | 523 | 710 | 709 | 659 | 602 |
| | 島根県立大学浜田C | | 106 | 130 | 115 | 99 | 513 |
| | 島根県立大学松江C | | 34 | 72 | 99 | 179 | 417 |
| | 松江工業高等専門学校 | | 35 | 115 | 144 | 102 | - |
| | 島根職業能力開発短期大学校 | | - | 50 | 46 | 49 | 22 |
| | その他大学・高専 | | - | 9 | 8 | 12 | 16 |
| | その他専門学校 | | - | 6 | 2 | 2 | 345 |
| | 高校生 | | - | 81 | 342 | 614 | - |
| | 小・中学生 | | - | 5 | 3 | 3 | - |
| | その他 | | - | 9 | 13 | 3 | - |
| | | | | 小計：約700名 | 小計：1187名 | 小計：1481名 | 小計：1722名 |
| 大人 | 地元企業・団体関係者【出展】 | | | 518 | 559 | 509 | 224 |
| | 地元企業・団体関係者 | | | 144 | 188 | 171 | (n/a) |
| | 大学・高専等教職員【出展】 | | | 108 | 106 | 127 | (n/a) |
| | 大学・高専等教職員 | | | 152 | 157 | 148 | (n/a) |
| | 小・中・高の教員 | | | 7 | 44 | 61 | (n/a) |
| | 学生・生徒の保護者 | | | 8 | 10 | 17 | (n/a) |
| | その他 | | | 46 | 77 | 52 | (n/a) |
| | | | | 小計：約900名 | 小計：983名 | 小計：1141名 | 小計：1085名 |
| 合計 | | 約1100名 | 約1600名 | 2170名 | 2622名 | 2807名 | 2139名 |

一部のべ人数で推計

1. 開催結果

1.3 協賛企業等セミナー提供団体数

オンライン開催

| | | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 地元企業・自治体等 | 企業 | 74 | 121 | 126 | 142 | 142 | 69 |
| | 自治体 | 40 | 19 | 15 | 13 | 12 | 1 |
| | NPO | 11 | 5 | 2 | 1 | 1 | - |
| | その他団体 | 12 | 11 | 12 | 10 | 5 | 2 |
| | | 小計：137 | 小計：156 | 小計：155 | 小計：166 | 小計：160 | 小計：72 |
| 大学・高専 | 島根大学 | 76 | 58 | 38 | 33 | 30 | 15 |
| | 島根県立大学浜田C | 8 | 3 | 6 | 3 | 6 | 2 |
| | 島根県立大学松江C | 5 | 5 | 5 | 2 | 3 | 1 |
| | 松江工業高等専門学校 | 11 | 6 | 3 | 3 | 4 | - |
| | 島根職業能力開発短期大学校 | | | 1 | 1 | 1 | |
| | その他の大学・高専 | | | 1 | | 2 | |
| | | 小計：100 | 小計：72 | 小計：54 | 小計：42 | 小計：46 | 小計：18 |
| 合計 | | 237 | 228 | 209 | 208 | 206 | 90 |

Agenda

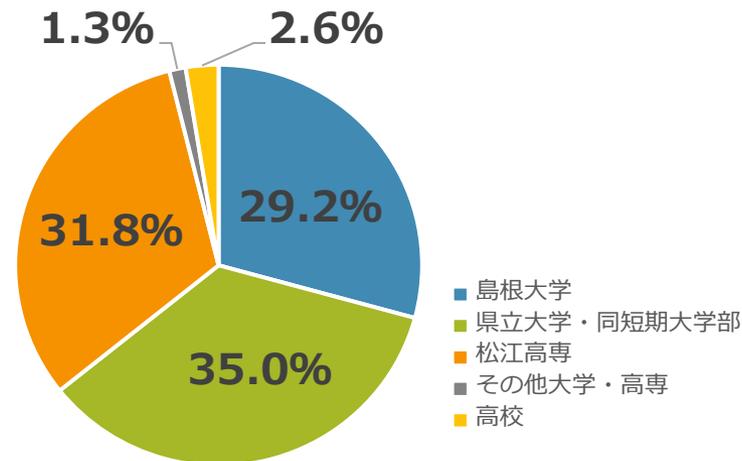
1. 開催結果
2. アンケート分析 ～学生・生徒～
3. アンケート分析 ～出展者～

2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.0 アンケート回答者の属性

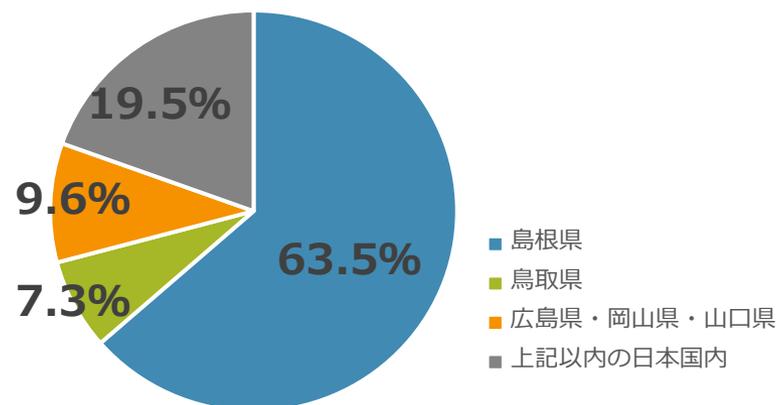
(1) 所属教育機関

| | | 度数 | 有効パーセント |
|-----|-------------|-----|---------|
| 有効 | 島根大学 | 111 | 29.2% |
| | 県立大学・同短期大学部 | 133 | 35.0% |
| | 松江高専 | 121 | 31.8% |
| | その他大学・高専 | 5 | 1.3% |
| | 高校 | 10 | 2.6% |
| | 合計 | 380 | 100.0 |
| 欠損値 | 無回答 | 5 | |
| 合計 | | 385 | |



(2) 出身地

| | | 度数 | 有効パーセント |
|-----|-------------|-----|---------|
| 有効 | 島根県 | 244 | 63.5% |
| | 鳥取県 | 28 | 7.3% |
| | 広島県・岡山県・山口県 | 37 | 9.6% |
| | 上記以内の日本国内 | 75 | 19.5% |
| | 国外 | 0 | 0.0% |
| 欠損値 | 無回答 | 1 | |
| 合計 | | 385 | |

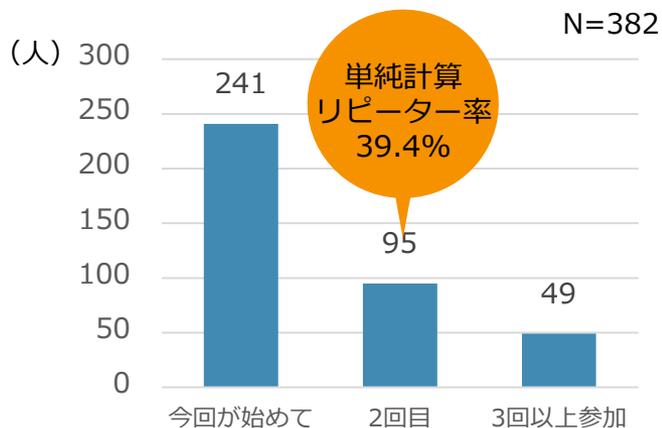


2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.1 参加履歴と参加のきっかけ

今年度

▶大交流会参加履歴

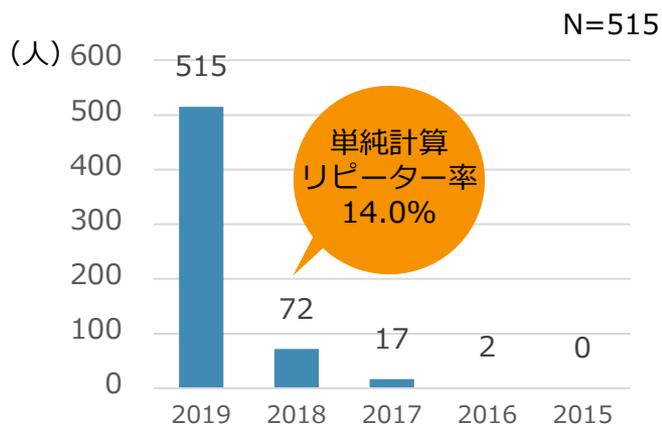


▶参加のきっかけ2020

| 項目 (単一回答) | 度数 | % |
|----------------|-----|-------|
| 1. 興味があったから | 66 | 17.3% |
| 2. 講義の一環として | 237 | 62.0% |
| 3. 友人や知人等に誘われて | 3 | 0.8% |
| 4. 先生や家族のすすめ | 59 | 15.4% |
| 5. その他 | 17 | 4.5% |

参考・昨年度

▶参加したことのある大交流会を選択



▶参加のきっかけ2019

| 項目 (重複回答可) | 度数 | % |
|--------------------------------|-----|-------|
| 1. 興味があったから | 132 | 25.6% |
| 2. 講義の一環として | 332 | 64.5% |
| 3. 友人や知人等に誘われて | 35 | 6.8% |
| 4. 家族のすすめ * 選択肢が2020と違うので注意 | 0 | 0.0% |
| 5. 出展者として参加 | 19 | 3.7% |

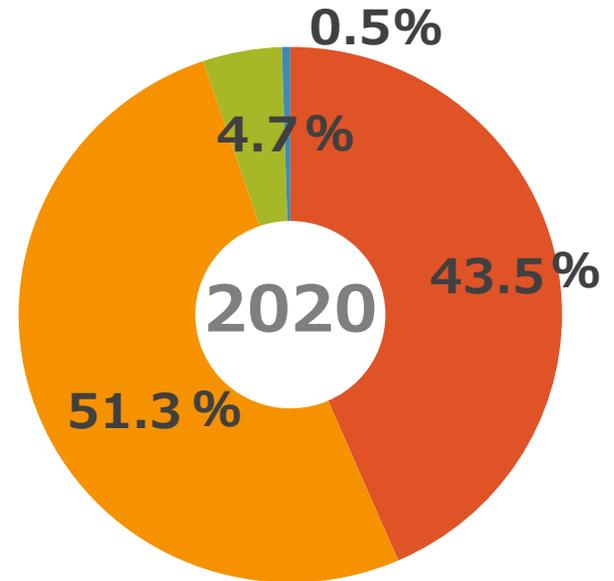
2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.2 学生の満足度①全体に対する満足度

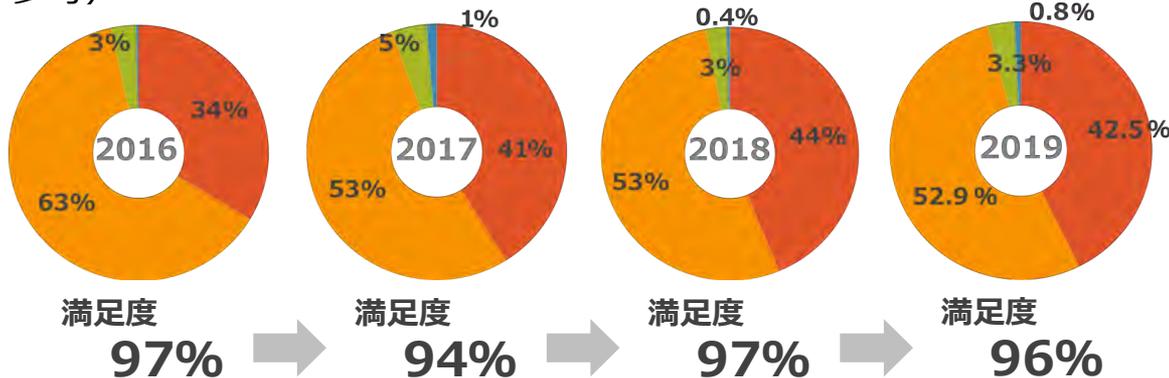
| 大交流会全体（運営・案内、サポート）に対する満足度 | 度数 | %（昨年度%） |
|---------------------------|-----|---------------|
| 全く満足していない | 2 | 0.5% (0.8%) |
| あまり満足していない | 18 | 4.7% (3.3%) |
| ある程度満足している | 196 | 51.3% (52.9%) |
| とても満足している | 166 | 43.5% (42.9%) |
| 計 | 382 | |

無回答 3

95% が満足（昨年度は96%）



参考)



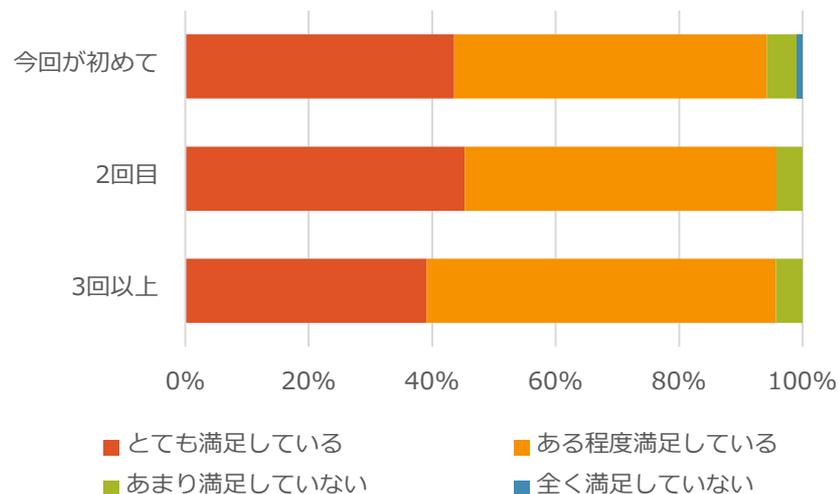
- とても満足している
- ある程度満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

✓オンライン化したが、全体としては高い満足度を維持。

2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.2 学生の満足度②参加回数別満足度

| | | 大交流会全体に対する満足度 | | | | 合計 |
|------|--------|---------------|------------|------------|-----------|-----|
| | | とても満足している | ある程度満足している | あまり満足していない | 全く満足していない | |
| 参加履歴 | 今回が初めて | 105 | 122 | 12 | 2 | 241 |
| | 2回目 | 43 | 48 | 4 | 0 | 95 |
| | 3回以上 | 18 | 26 | 2 | 0 | 46 |
| 合計 | | 166 | 196 | 18 | 2 | 382 |



✓ 過去に対面開催の大交流会に参加したことがある学生も高い満足度を回答した

2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.2 学生の満足度③自由記述

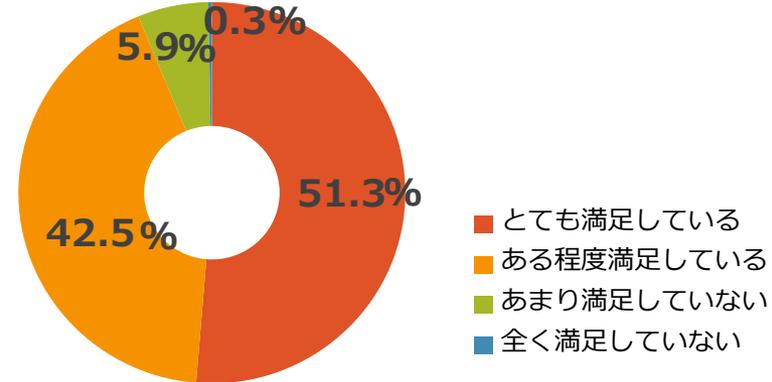
- とても円滑にZOOM会議に参加できたから。（同意見多数）
- zoomの繋ぎ方をサポートセンターの方に教わりましたが、とてもスムーズでありがたかったです。（同意見多数）
- 手引きが詳細に説明されており、あまり困ることが無かったため。
- 事前にメールでの説明や参加の手引きなどがあり、分かりやすかった。
- オンラインではあったが、少人数で参加者の顔が見えていたので、臨場感があった。
- 時間通り進めてくださったので安心して次のセミナーに参加することができた。
- オンライン開催ということで、予約しなければ聞くことができなかつたり、本当に聞いてみたかったところがすぐに定員オーバーしてしまったことが少し残念だったが、この開催方法でなければ聞きにいかないような企業のお話を聞くことができたのでよかった。（同意見複数）
- それほど興味がなかった業界も知ることができ、企業研究を積極的にしようと思えた。
- あまり堅いものではなく、参加しやすかったです。
- ホームページのクオリティが高く、操作していて爽快だった。
- プロセミの参加はスワイプするのに戸惑ったが、すぐに解決方法が更新され助かったから。
- マイページからZoomに参加する方法はやりやすくて助かった。
- 実行委員の方がセミナーに参加していたため万が一なにかトラブルが起きたときに安心だと感じた。
- このような状況になってしまって、開催はしないのかと残念に思っていたところ、オンラインで開催して下さい、とても感謝しているからです。ありがとうございます。
- オンライン開催のほうが優れていると感じている。参加への負担が小さいからである。
- 慣れていないところがあって、ほほえましいところがあったから。趣旨があまりはっきりとはわからないこともあったが、自分の考える力が試されているんだと思いつくわくしたから。
- 特に通信に障害も起きずプログラムがスムーズに動いたのでオンラインであることを気にせず進めることができました。
- 途中音が聞こえない回があった時に迅速に対応していただいたため。
- 一先ず自力で事前登録から予約した全セッションの受講まで出来たから。
- しまね大交流会のサイトからのスケジュール確認がとてもやすかったのと、ちゃんとプログラムが進んでいるかの確認、サポートの質が良かったから
- 会場に行ってお話を聞くのがベストだと思っていたが、移動時間や動く体力が要らないオンラインでの開催も結構メリットがあるように思った。
- 予約の方法が分かりにくかった。ホームページが中々出てこない。ビデオオン、オフどちらにすればいいのか分からなかった（オンの人もオフの人もいたので）
- トラブルが非常に多かったため。
- 一つzoomに入れないセミナーがあり、ヘルプセンターの方に連絡したのですが、最後まで入ることが出来なかったで、セミナーが聞けず、残念でした。
- 休憩時間をもう少し長くしたらもっと良いと思った。
- オンラインでは雰囲気は掴みにくかったからです。ですが、自宅で受けて聞きたいものだけできるので良かったです。

✓ しまね大交流会2020は、学生にとっても初めてのオンラインイベントであることが多く、満足度が高い理由には「参加のスムーズさ」が最も挙げられていた。

2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.2 学生の満足度④プロフェッショナルセミナー満足度／自由記述

| プロフェッショナル セミナーの満足度 | 度数 | % |
|-----------------------|-----|-------|
| 全く満足していない | 1 | 0.3% |
| あまり満足していない | 20 | 5.9% |
| ある程度満足している | 144 | 42.5% |
| とても満足している | 174 | 51.3% |
| 計 | 339 | |



注) 参加していないと答えた回答者は除外した **満足度は94%**

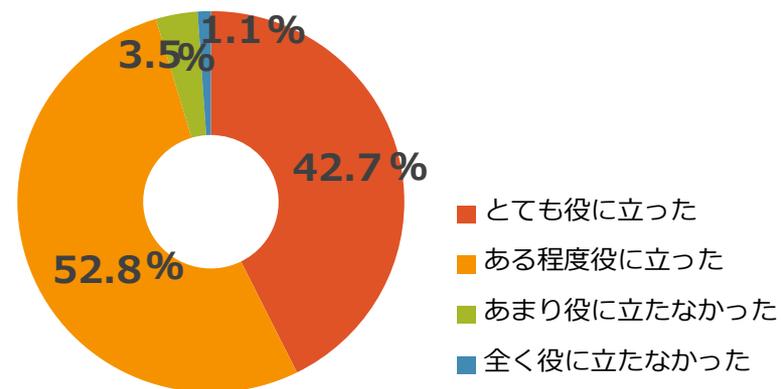
- 質問に丁寧に答えて頂けたから。(同意見多数)
- 働いておられる方の生の声を聞くことができたので、面白かったから。(同意見多数)
- 面接や仕事についての考え方など学生目線ではわからないことを知ることが出来た
- 島根県内の企業について調べただけではわからないことも知ることができたから。
- 企業の方の説明がとても分かりやすく、それぞれ企業の魅力が伝わったから。
- 新しい発見があり、興味を持つことが増えたから。
- 仕事に対する今までのイメージを変えることが出来たように感じたからです。
- 企業の中では工夫を凝らしたものがたくさんあり、個人的に行ってみたいと思えるようなところもあったので楽しめました。
- ためになる話を沢山聞くことができたから。元々興味のなかった企業でも、説明を受けて興味が増え、聞いて良かった。
- わかりやすい資料だったり、限られた時間の中で詳しくわかりやすく企業のことを説明してくださったので、全てのセミナーが終わったあと、参加して本当に良かったなと感じたから。
- 実際にIT企業で働いておられる社会人さんたちの生の声をお聞きしました。今、就職に対してものすごく不安を感じていましたが、お話を聞いていくうえで不安が薄れたように感じるためです。
- 自分の興味のある業界の仕事内容を詳しく聞けたから。
- 工夫を凝らし、働くことについて、生の声を伝えてもらえたから
- 企業の情報だけではなく、社会人としての基本的なことやコロナ禍での働き改革など、今後仕事を選ぶ上でとても勉強になりました。
- オンライン開催になったことで、企業ごとの移動に時間が掛からず、またどの企業を選ぶかを、場当たり的に決めることがなく良かった。
- 短い時間ではあったけどとても充実した内容であったため。
- 様々な企業から話をたくさん聞くことができ、将来について参考になったから。
- ときどき音声が途切れるところがあった。
- 結構上限がすぐ埋まってしまって本当に行きたいところへ行けなかったから。
- もう少し、オンラインな良さを活かせたらと思いました。
- 5分以上話が伸びたセミナーを除けば、基本的に満足のいくセミナーだったから。
- 予約していたが始まらなかった
- 内容は良かったが、入れ替わり時間が短く、前のセミナーが長引いた場合、次のセミナーに支障が出てしまった。
- 参加するまでどんな内容かがわからず、申し込みにくかった。

✓ 出展者の生の声や丁寧な対応、工夫が満足度が高い理由に多く見られる。

2. アンケート分析 ～参加学生～

2.3 キャリアデザインに対する有用感

| 大交流会は、キャリアデザインの参考になったか？ | 度数 | 2020 | 2019 (参考値) | 2018 (参考値) |
|-------------------------|-----|-------|---------------|---------------|
| 全く役に立たなかった | 4 | 1.1% | 0.8% | 0.9% |
| あまり役に立たなかった | 13 | 3.5% | 2.7% | 2.2% |
| ある程度役に立った | 198 | 52.8% | 56.3% | 55.7% |
| とても役に立った | 160 | 42.7% | 40.1% | 41.2% |
| 有効回答 | 385 | | | |



97% が役に立ったと回答

- あまり興味をもてないまま申し込んだ企業がとても楽しそうだったりしたので、選択肢の幅が広がりました。
- いままでは考えてもいなかった企業にもお話が聞けて、いろいろな経験が進路を決める上で大切だと思いました。島根で働いておられる方にお話が聞けて、地元で頑張る素晴らしさを感じることができました。
- しまね大交流会に参加して自分の視野を広げることができた。また就活へのやる気もわいた。(同意見多数)
- 企業を選ぶ上での選択肢が広がったと感じるから。
- 興味がなかった業種の企業も、実際に話を聞いて興味が湧き、さらに視野が広がった。(同意見多数)
- 進路に悩んでいたのも、こういう道もあるんだということが分かったし視野を広げることができたから。
- 自分の興味がある分野で実際に働いている人にお話を聞くことが出来たため。
- 自分の視野を広げる機会になったし、自分が興味を持っていなかった業界に興味を持てた。
- 将来、どんな仕事に就いて、仕事とどう向き合っていくか、イメージがしやすくなった。
- 将来、自分が何を大事にして働いていきたいか、考えるきっかけになったから。
- そもそも何がしたいかわかっていない自分がそれを考えるヒントを得られたから
- それぞれの企業の説明についてはもちろんだが、働くことの意義や社会について教えていただけて、今後の参考になった。
- 学生のうちに将来についてどう考えていくかということが参考になりました。
- 県外の大学に出てからの進路が決まっていなかったけどいつか島根に戻りたいと思えたから。
- 現状の自分だけで今後の就職先を決めるのではなく、大学生活を通して自分の目標を立て、就職活動をしたと思いました。
- 大企業を支える裏方の企業があることを知れたから。
- 仕事に対する価値観が変わったから。
- 私は海外進出を目指しているため、海外支店を持っておられる企業さんがおられて、そのような企業さんに就職したいと強く感じた。
- 島根県で就職したいと考えており、島根県の企業を知りたかったから。
- 幅広い企業からたくさん話が聞けて知らなかった仕事について知ることができ、視野が広がったから。
- 魅力的な企業を見つけることができたから。
- 様々な方のお話を聞いて、今後の、自分のやりたいことについて決める大きな参考になった。
- オフラインでの開催と比べると物足りなさがあった

✓ 関心がなかった企業との出会い、自己省察への認識が有用感に影響。

2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.4 参加学生の意識変化①

| | | 生活の場として 想定していない (③のみ) | 全く 増して いない | あまり 増して いない | ある程 度 増した | とても 増した | ポジティブ 変化合計 |
|---|--|-----------------------------|------------------|-------------------|-----------------|------------|-----------------|
| ① | 出展企業に対する興味・関心 (N=382) | | 1.8% | 6.5% | 57.9% | 33.8% | 計92 % |
| ② | 出展企業の職場見学や インターンシップへの興味・関心 (N=381) | | 2.4% | 8.1% | 62.2% | 27.3% | 計90 % (91 %) |

* () は参考値として、昨年度の同様の設問に対する回答結果を示した

①についての自由記述

- 今回の大交流会で今まで興味のなかった分野の企業の講演も聞くことができた。そしてその企業のイメージがとても変わった。またそれぞれの企業で学ぶことが多く島根県企業にとっても興味を持った。
- 実際にIoTやビックデータ、情報システムを生業としている企業の話聞いたことで、講義で学んだことがより現実を帯びてきたし、自分が知らなかった仕事の形を見ることが出来たから。
- 大交流会に参加したのは、大学1回生の時からで、これで3回目になるが、私自身が3回生になったからか、就活を自分事として捉えることができ、受け取る熱意が増したと感じた。企業への関心も増している。
- 話の内容がどれもありがちなものだったから。
- 話を聞いたが、面白いと思わなかったから。
- インターンシップで聞いた内容や、会社のホームページに乗っている内容とかなりかぶっていた。もっと新しい情報が聞けたら嬉しかった。

②についての自由記述

- 具体的にインターンシップで何を学ぶのか、何をするのか、日程などの情報を得たから。
- それぞれの企業さん、個々の事業や政策をとっておられて面白く、興味がわいた。出展企業の職場見学やインターンシップへ参加し、自分の視野をさらに広げていきたい。
- 工場見学にもものすごく行きたい!と思ったから。
- 今までインターンシップに参加したことはなかったが、参加したいと真剣に思えるインターンシップに、初めて出会うことができたため。
- やはりコロナということもあり実際にインターンに行くのは少し不安がある中で、話の中でもコロナ対策などについて触れているところもあり、インターンに行くのもありだなと思ったから
- 企業がどんな取り組みをしてどんな形で社会を支えているのかを知ると、私自身もインターンシップにおいて地域や人々と企業の仕事を通して接してみたいと感じたから。
- 参加した企業のインターンが単なる企業説明のように感じたから

- ✓ 事前に学生自身が得られる情報以上のことが提供されないと、興味・関心は変化しにくい傾向になる。

2. アンケート分析 ～学生・生徒～

2.4 参加学生の意識変化②

| | | 生活の場として 想定していない (③のみ) | 全く 増して いない | あまり 増して いない | ある程 度 増した | とても 増した | ポジティブ 変化合計 |
|---|------------------------------|-----------------------------|------------------|-------------------|-----------------|------------|---------------|
| ③ | 将来の生活の場としての 島根の魅力 (N=381) | 7.9% | 1.8% | 10.5% | 59.6% | 20.2% | 計80% |

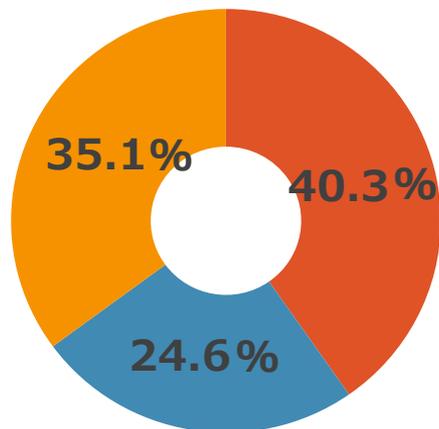
- IT企業はパソコンとネットワーク環境さえあれば、どこでも仕事ができるとお聞きし、住み慣れた故郷で働くのも便利でいいと自分の考えを持ち直すことができた。
- どの企業も魅力的だったので将来の生活の場として良いのではないかと考えたから。
- もともと島根の魅力について調べていて、それが出展企業の説明により具体化してあると感じたから。
- 各企業が本業とは異なる形であっても、地域への還元をされていて住民にとってはよいことがあると感じたから。
- 県外での就職も少し視野にあったが、地元で働くことの魅力を改めて感じた。
- 県外や海外へも進出して仕事を行っておられる企業もあるということが分かったので、島根にいても視野を広げられると思ったから。
- 実際に住んでいる上で「住みやすいなあ」と感じるものが多々あったけど、今日のセミナーで地域のために尽力してくださっている企業が沢山あることを知り、改めてずっと住んでいたいと思ったから。
- 自分のやりたい工学系の会社が島根県にもたくさんあることを知れたから。
- 世界を相手にしているなど、自分の知らないことを知れたため、島根県の企業に興味を感じた。
- 地域と密着した企業の取り組みもあったため、生活をする面で市民と会社の連携があるのは良いことだと思ったから。
- 地域のために頑張っておられる企業さんが多く、誇りを感じるとともにそこに自分も身を置くことで地域に貢献したいと再認識したから。
- 地域の課題解決のための企業があることに魅力を感じたから。
- 地域貢献している企業がたくさんあったから。
- 島根から、全国や世界規模で活躍できる企業が多かったから。
- 島根にも日本・世界規模で誇れる製品やプロジェクトがあることを知ったため
- 島根には、こんなに幅広く職種があることを知ることが出来たから。また、色々な人の尽力によって、私たちは島根に住むことができていると思ったから。
- 島根には考えていたよりも魅力的な企業が多くあるのだということを知ったからです。私は島根県の出身ではないので将来は地元に戻ることを主に考えていたのですが、島根で就職することも考えてみようと思います。
- 島根に愛着を持ってその魅力を発信したいと考えている人たちが多くいる地域だと感じる事ができたから。
- 島根に貢献している企業が数多くあると感じたため。
- 島根県で生まれたので、ふるさとに貢献したいという気持ちが強くなり、また貢献している企業が多かったから。
- 島根県は何もないという印象があり、県内企業にわずかでも目を向けることをしてこなかったため、それを知ること、県内企業に興味を持ったから。
- 島根県をはじめ山陰地域にはこんなにも魅力的な企業が多く存在しており、常に地域の人々の事をしっかりと考えて仕事をして下さっている企業の方が沢山いるという事を知れたから。
- 特にIT企業では、島根で活躍しておられる企業さんが多かったのと、今後コロナの影響もあり、職場に行かなくてもいいようになり、様々な地方の方々とオンラインで会議もできるようになったからです。
- 雰囲気やよさそうな会社や惹かれる理念をもった企業が多く見受けられたから。
- 交通の便が悪いため。
- 地元がかなり遠く、Iターンするには非現実的であるため。
- 地元に戻る予定のため
- 島根はいいところだと思いますが、やはり一度でも県外に行きたいと思った感情が消えていないので、島根よりは…と思います。

✓ コロナ禍により「どこでも働ける→住むのに適した場所を優先」という考え方が現実味を帯びている。「地域との繋がり・貢献がある企業多い→地域として魅力的」という感じ方が多数見られる。

2. アンケート分析 ～参加学生～

2.5 オンライン開催に対する学生所感①

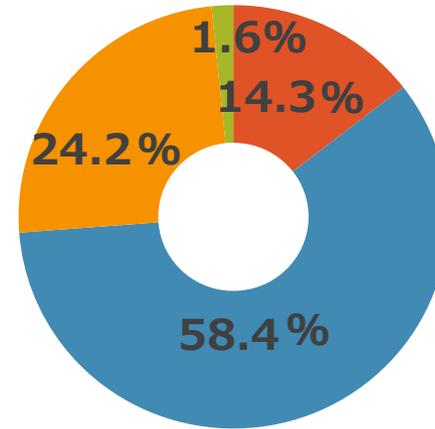
(1) 参加のしやすさ



- オンラインのほうが参加しやすい
- 対面開催のほうが参加しやすい
- どちらでも良い

- その場に行くことを考えると少しハードルが高く感じるが、オンラインでの開催だと参加しやすかった。
- たくさんセミナーを選んで移動しなくて済むから。
- チャットを使えるため質問がしやすいと思った。
- どこからでも見ることができ、重要なことをメモしやすいと感じました。
- 会場に行かなくても参加できるから。対面に比べ、あらかじめ興味のある企業をしっかり選び考えるので、有意義な時間を過ごせる。
- 感染症のリスクを考えるとオンラインの方が安心だと思った。
- 家だと場所をとったり、家族に伝えたりが大変でした。
- 質問しにくいから。

(2) 交流のしやすさ



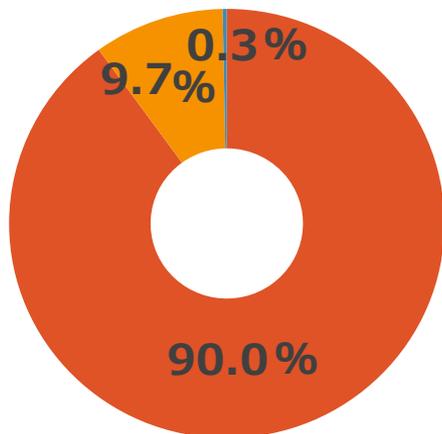
- オンラインのほうが交流しやすい
- 対面開催のほうが交流しやすい
- どちらの方法でも交流のしやすさは変わらない
- どちらの方法でも交流しにくい

- チャット機能で、話すこととは違うコミュニケーションツールが使えるから
- 自分は神経質なため、対面だと人疲れしてしまいます。そのため、今回は、内容に集中でき、質の高い学習ができました。
- オンラインだとどちらから話すのか戸惑うときがある。また、目が合っていないので不安。質問の際は他の参加者の顔も見えている状態なので質問しづらい。
- オンラインは企業さんのほうがコミュニケーションしにくいだろうなと感じた。
- みんなの前で質問するのが気が引けた。直接対面する場合、話が終わってから個人的に聞くこともできると思うが、それができないのは少し残念だった。
- 初対面でオンラインでの会話が難しいと思います。それまでにチャットやメール、掲示板などで話をしていた（知り合いになっておいて）、OFF会みたいな感じで、オンラインで面と向かって交流するのはありかな？

2. アンケート分析 ～参加学生～

2.5 オンライン開催に対する学生所感②

(3) 個人情報保護について



- ルールが守られており全く心配なかった
- 少し心配することがあった
- 大いに心配することがあった

- オークヤンズを用いることで、情報が暗号化されていたから。
- ニックネーム可だったため。
- 見やすい、ホームページと、スムーズな通信にとっても安心感を持って受講することができた。
- 予約しないと参加できないようになっていたから。
- 25分間のほとんどを説明に費やし、「質問等は後にHPを通してやプレゼンターに直接」とした企業では、後に個人情報収集される危険性があった。
- コーナーごとに、写真の取扱い（SNSに上げてよいか）などの説明が欲しかった。
- 強制ではないのですが、チャットで大学名と氏名を聞いてきた企業があったので、少し気になりました。

(4) 学生の考えるメリット・デメリット

- 移動に時間がかからないため、その点に関しては慌てることが少ないことがメリットだと感じた。カメラとマイクをオフにしたとき、主催者と聴衆との壁が簡単に出来てしまうことがデメリットに感じた。
- インターネットの環境によっては聞き取りづらいところがあるのであることがデメリットだと感じた。
- オンラインで事前予約制だったため、会社名が有名なところをどうしても選びやすい。前回、対面で参加したときは空いているブースにとりあえず行って話を聞き、思わぬ出会いができたが、今回はそういったことがなくて残念だった。オンラインでもぶっつけで話が聞けるコーナーがあればより良かったかもしれない。
- オンラインは静かに個人で受けることができたので、周りがうるさく聞き取れないということではなく、聞く環境としては最高だったと思います。ですが、孤立感があり、質問し辛いという面もありました。
- オンライン企業ツアーや社内訪問ができる。
- コロナウイルスのことを気にせず気軽に参加することができる。
- チャットを使える点はメリットであると思うが、ネット環境により不具合もあることはデメリットであると思う。
- メリット：好きな時に好きなところから参加できる。交通の費用と時間、会場費や準備物費が抑えられる。デメリット：実際のものに触れる、食べてみるなどのことができない、雰囲気。ライブ感（時間の共有感）はあった方がよい。
- メリットとしては県外に住んでいたとしても参加がしやすい、デメリットとしては参加企業が少なくなってしまうのと、オンラインであるため質問がしにくいと感じた。
- メリット：家からでも参加できるため、参加しやすい。無駄に緊張しないから企業のことが頭に残りやすい。登録などせずにZOOMを入れておくだけで参加することができるから楽だった。デメリット：初めてZOOMを使用したため、少し手こずる部分があった。しかし、就職の面接などでいきなり使って焦る、ということが回避されたから良かった。良い経験だった。
- 松江ニューアーバンホテルさんがされていた中継スタイルは、オンラインならではのスタイルで、見ていてとても楽しかった。このようにオンラインならではの良さもあると思う。

- ✓ 多くの学生がオンライン開催の一長一短をそれぞれ理解している。オンラインならではのスタイルは、印象に残りやすい。

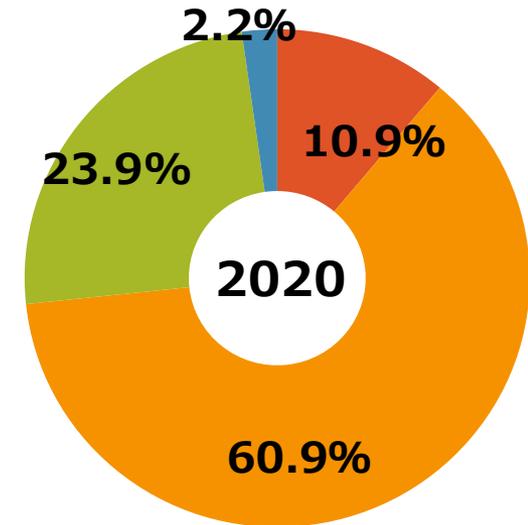
Agenda

1. 開催結果
2. アンケート分析 ～学生・生徒～
3. アンケート分析 ～出展者～

3. アンケート分析 ～出展者～

3.1 出展者の満足度①単純集計

| Q6)本日の満足度について教えてください | 度数 | 2020 | 2019 | 2018 | 2017 |
|----------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 全く満足していない | 2 | 2.2 % | 0.0 % | 0.6 % | 0.5 % |
| あまり満足していない | 22 | 23.9 % | 5.6 % | 3.3 % | 5.2 % |
| ある程度満足している | 56 | 60.9 % | 61.0 % | 63.9 % | 65.4 % |
| とても満足している | 10 | 10.9 % | 33.3 % | 32.2 % | 28.8 % |
| 計 | 90 | | | | |



- とても満足している
- ある程度満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

- ✓ 満足度は72%と大きく下がった。
- ✓ 出展者属性による違いは見られなかった。

3. アンケート分析 ～出展者～

3.1 出展者の満足度②自由記述

ポジティブ満足度の回答者の記述例

- オンラインで広く（多くの視聴者の方へ）会社紹介ができたため
- 多くの学生にセミナーを聞いていただき交流することができました。
- 昨年のリアル開催の時よりも参加者数が約1.5倍程度増えたため。一方で、個別に会話する時間が無く、学生さんの名前や学校等の情報が得られないため企業側から個別にアプローチできなかったため。
- 例年と比較するとブース訪問者数が3～5倍に増えていたため。
- 7日、8日ともセミナーを行ったが、予約は全て満席になっていた。また、実際の参加率も8割ほどであったので、比較的多くの学生さんと交流する機会となりました。
- 予想以上の参加者数であった。（Zoomレポート集計で39人）ただし、学生の反応がつかめなかった。つかみ方がわからなかった。
- 企画をもう少し練っておけばよかった。各出展者でアイ

デアを出していると思う。メッセでは他の出展者と話すことができたが、オンラインでは横のつながりがわからない。各出展者の取り組み内容を知ることができれば今後の参考になる。

- 工場見学として、加工現場を見せることができたので、満足しているものの、声が聞こえていますかなどに対する呼びかけには反応があったが、あまり質問などは来なかったため。
- 少し不安に思っていました。例年とさほどそんな色なくいろいろな学生の方にご参加いただき良かったと思います。
- 座談会へ出席ができたこと、高校生との交流が持てた事は、とても有意義でした。これは、オンライン開催であったこと、スケジュールの組み方等によるところが影響していると思いました。自社のアピール以外での充実感が得られました。
- 冒頭にホスト側の声が届かないといったトラブルもあり

ましたが、当セミナーの回数を重ねる度に落ち着いて進める事が出来ました。進行やセミナーの中身は見直す点がございしますが、この機会をスタートラインとし、今後のWEBセミナー展開のイメージを持つ事が出来ました。学生達と会話が多く出来たことも満足な点です。

- 例年の交流会と違い、1回あたりのプレゼンが25分確保できたから。
- オンラインであったが約30分間しっかりと会社の魅力について話すことができた
- オンラインでの実施だったが、参加された複数の学生から意見や感想を聞くことができましたし、質問もいくつも受けることができ、思っていた以上に学生とのコミュニケーションが図れたため。

ネガティブ満足度の回答者の記述例

- はじめてのオンラインではありますが事前の連絡のメールが多く読む時間、修正、確認の電話が多く感じたので少し大変でした。
- 画面をオフにされる学生が多く、顔色がつかみにくく、話しくい。
- 多くの学生に参加はしてもらったものの、4回に分かれたセミナーで質問は1名1回のみで、また顔出しの学生が少なく、相手の興味・関心度を把握出来なかった。企業側の一方的な説明に終始してしまっ。コミュニケーションを取ることが出来なかった。

- 事前準備や当日対応などに費やした労力に対し、アピールできる人数は限られ、効果が少ないと感じた。
- セミナーに参加した学生とは人数が多く相互の会話ができない事、顔を写さない学生がいる事などで、交流ができなかった。セミナーをやっている当方も学生の反応が見えない為、対応が難しかった。交流会という企業・学生・学校・行政相互の交流や熱気が感じられずWEBの限界を感じた。
- セミナーへの来場者へのアンケートが弊社内で準備不足で、感想を受け付けることができなかったため、満足度

を確認することができなかったから。

- コロナ禍の状況でいろいろ工夫していただき、実施できたことに敬意を表します。ただ、ない物ねだりになりますが、昨年度までの対面での実施を経験していると、場の雰囲気を感じられなく、物足りなく思ったのは事実です。来てくれた人はほぼ高校生だったと思いますが、カメラをオフにしている人も多く、また、回線状況が悪くて音声伝わらないなどもあって、相互作用がしにくかったということがありました。

3. アンケート分析 ～出展者～

3.2 出展者研修会①実施報告

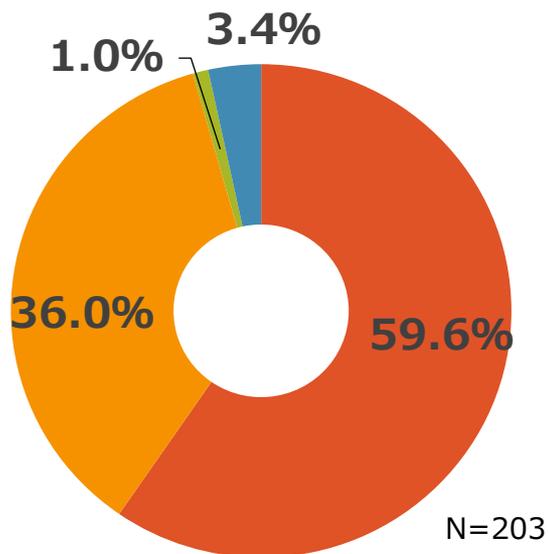
| 日時 | 内容 | 参加者数 |
|--|-----------------------|------|
| 9月8日(火) 10:00~11:00 9月9日(水) 10:00~11:00 | ①「Zoom研修:ゲスト参加・機能体験編」 | 26 |
| 9月10日(木) 10:00~11:00 9月11日(金) 10:00~11:00 13:00~14:00 | ②「Zoom研修:手軽なプレゼン動画制作」 | 44 |
| 9月15日(火) 10:00~11:00 9月16日(水) 10:00~11:00 13:00~14:00 | ③「Zoom研修:ホスト開催～機能活用編」 | 37 |
| 9月17日(木) 10:00~11:00 9月18日(金) 10:00~11:00 13:00~14:00 | ④「Zoom研修:参加者支援と事故対応編」 | 40 |
| 9月23日(水) 10:00~11:00 9月24日(木) 10:00~11:00 | ⑤「オンラインセミナーの設計基礎」 | 41 |
| 9月28日(月) 10:00~11:00 13:00~14:00 | ⑥「目に留まるキャッチ・コピーの作り方」 | 20 |
| 10月5日(月) 10:00~12:00 10月8日(木) 10:00~12:00 10月12日(月) 10:00~12:00 10月15日(木) 10:00~12:00 | ⑦「ファシリテーションの基本」 | 28 |
| | <個別相談会> | 8 |
| 10月30日(金) 16:00~17:30 | ⑧「実践型研修会&プレ交流会」 | 9 |
| | ★大交流会当日(11/7・8) | |
| 11月25日(水) 10:00~12:00 11月26日(木) 10:00~12:00 | ⑨「出展者相互交流ワークショップ」 | 14 |

参加者のべ267名

3. アンケート分析 ～出展者～

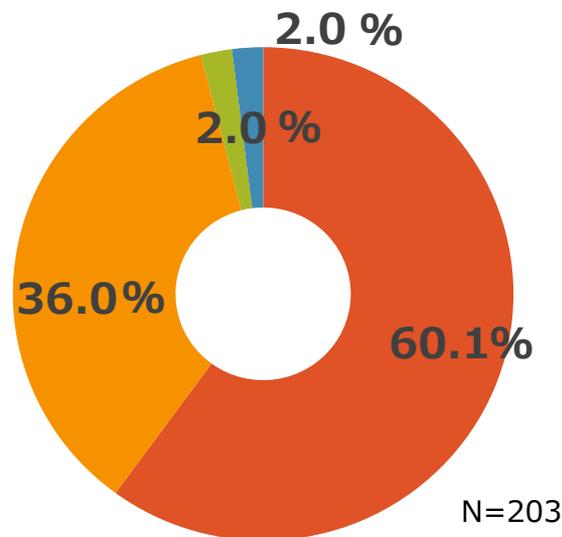
3.2 出展者研修会②参加者アンケート

(1) 満足度



- とても満足している
- ある程度満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

(2) 研修内容とニーズの合致度



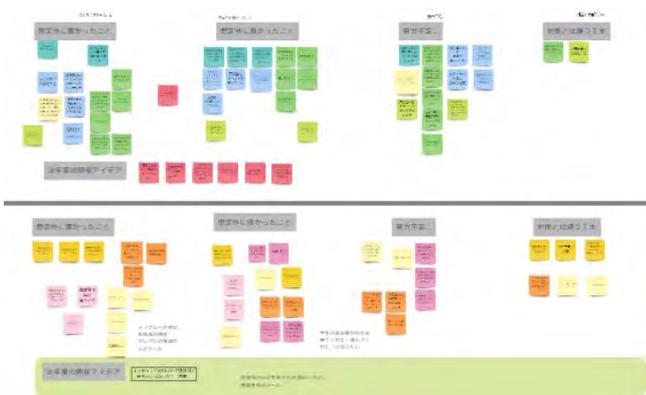
- とても合致している
- ある程度合致している
- あまり合致していない
- 全く合致していない

3. アンケート分析 ～出展者～

3.2 出展者研修会③研修会参加者による今後の大交流会の形について

- ✓ 11/25、26に、出展者研修会の集大成編として、オンラインワークショップ形式で、出展者同士の交流を行った。
- ✓ 「想定外に良かったこと」「想定外に悪かったこと」「対面とは違う工夫をしたこと」「努力不足だと感じたこと」などを共有し、次年度以降の大交流会の理想的なあり方について検討をおこなった。
- ✓ 参加者からは、苦労もあったが新しい発信方法を得られたことに対し、ポジティブな受け止めと、次年度以降の開催の際は、オンラインを効果的に活用しつつ、対面で開催し、対面発信の際のさらなる工夫のあり方についての意見が目立った。

オンラインホワイトボードの抜粋



| 次年度アイデア | |
|--------------------|----------------------------------|
| 質問をあらかじめ設定 | オンラインがいい。興味はあるがリアルがやりにくい人もいる |
| スライドの量は少なく | 話題設定の工夫 |
| ぜひオンラインで開催してほしいです。 | 説明する側としての準備が楽(オンラインがいい) |
| | 学生の見たい情報を提供する |
| | オンラインが人気でしたね。逆に、対面のメリットは何でしょうかね？ |